

知事と区市町村長との意見交換（三宅村）

令和元年 9 月 25 日（水）

11 時 50 分～12 時 10 分

○行政部長 それでは、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 おはようございます。三宅からわざわざお越しいただき、ありがとうございます。また、三宅村には、いつもエンデューロレースのたびに伺わせていただき、まさしく自然の環境を生かした観光の一つのイベントであるというふうに認識いたしております。今日は、これからの三宅島、三宅村について、また、今後どうあるべきかなどについてお話を伺いたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 櫻田村長よろしく願いいたします。

○三宅村長 おはようございます。三宅村長の櫻田です。知事には引き続きこのような有意義な時間を設けていただき、ありがとうございます。

早速ですが、都の長期戦略ビジョンや政策に関して、本村の重要施策、及び都に望むことにつきまして、東京都長期ビジョンに基づいて本村での取り組み状況、及び要望事項について説明をいたします。

まず、史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現につきましては、本村は公設では有数の規模を誇る施設を活用したスポーツライミング大会を毎年開催しております。また、本年度、10 周年記念として、国際ライダーを招聘し行われるバイクレースと併せて、島内スポーツイベントとして定着し、機運醸成の一助となっております。また、島しょ地区では、史上初の聖火リレーにつきましては、島民にとっても大いなるレガシーの継承が行われるものと確信しております。

次に、安全・安心な都市の実現としましては、伊ヶ谷避難港について、避難道の整備を進めていただき、火山と共生する住民の安心・安全を担保していただき、お礼を申し上げたいと思います。また、約 20 年周期で発生するといわれている噴火は、本年で 19 年を数え、次の噴火が懸念されるところです。おかげさまで、本年度より、島内バス停付近に噴石シェルターを順次整備するとともに、小中学校体育館に、空調機等を設置し、学校教育環境のみならず、避難時における生活環境を向上し、住民の生命の安全を確保するよう図っているところです。

続きまして、福祉先進都市の実現につきましては、都立病院への島民受け入れなど、高度な医療を提供いただき、さらに、緊急ヘリ患者搬送につきましては、島しょ住民の安全・安心を担保していただき、深く感謝しているところです。

次に、農林水産物のブランド化と魅力の発信といたしまして、水産業では、金目鯛やマグロなど、様々な水産物が水揚げされ、都内に出荷され、農業では、明日葉や切り葉等のほか、近年では、パッションフルーツやレモンの試験栽培が行われております。特に、レ

モンにつきましては、商品化に向けた東京都の一層のご指導・ご協力をいただければというふうに思っております。

島しょの地域の魅力を生かした観光振興の推進といたしましては、火山景観を生かした東京都版エコツーリズムである雄山火山観光の本格的な実施に向け準備を進めるとともに、日本一の椎の巨木を活用した観光ツアーなど、島の魅力を生かした様々な取組を行っております。また、東京 11 の島をブランディングする東京宝島も、各島ともに島会議も進み、その結果が期待されます。このように、東京都の長期計画に関連し、様々な事業を村内外で展開しておりますが、特に、本村としては、次の 3 点について要望したいと思っております。

1 点目としましては、都営キャンプ場の整備です。本村に現存する唯一のキャンプ場は、ご覧のように非常に狭く、ハイシーズンにおいては、写真のような状況で、キャンプ本来の目的を満たすことはできません。近年では、グランピング等、従前のキャンプとは違い、テントを設置、食材の準備等の煩わしさから解放された上質な宿泊、自然体験が人気を呼んでおります。このように、一定の管理体制、料金体系での運営形態であれば、他島キャンプ場で問題となっているごみマナー違反や騒音等の迷惑行為も抑制することができるとともに、減少する島内宿泊室を補完し、上質な宿泊施設による島しょの魅力創出にもつなげることができるものと確信しております。

なお、予定地としては、ご覧のように、村有地であるリフレッシュふるさと館用地を予定しております。なお、写真は、リフレッシュふるさと館を中心とした予定地全景です。是非とも、都営キャンプ場の整備をお願いしたいと思っております。

2 点目は、公設宿泊施設の整備でございます。三宅島の観光人口は、グラフをご覧のように、昭和 55 年の 11 万人をピークに大幅に減少し、現在は 3 万 5 千人で推移しております。続いて、グラフでお分かりのとおり、以前は、93 軒、宿泊定員 2,500 人の規模を誇った宿泊施設も、平成 28 年には 32 軒、宿泊定員 581 人と、7 割以上減少してしまいました。近年は、観光客も増加傾向にありますが、特に、ハイシーズンやスポーツ等の各種イベントは、宿泊場所が確保できないという理由から、来島をお断りするケースも発生しており、観光立島を目指す本村において、大きな課題となっております。このため、観光協会や商工会とも話を進めているところですが、既存宿泊施設との競合を避けた運営形態の公設の宿泊施設を整備し、減少した島内宿泊定員数を確保するとともに、上質な宿泊施設により、さらなる島しょの魅力を創出し、活力ある島づくりのためにも、公設宿泊施設の整備に向けた支援をお願いしたいと思っております。

3 点目には、オリンピックレガシーを活用したスポーツ公園の整備です。帰島から 15 年が経過し、島内の復旧・復興事業も一段落し、島民も落ち着きを取り戻しつつあります。日常生活においても、芸術・文化・スポーツ活動が活発に行われるようになり、中でもテニスは年齢層も幅広く、競技人口も増加傾向にあります。しかし、現在利用しているコートは、他施設への転用が決定しており、このため、2020 オリンピック・パラリンピックを迎え、スポーツへの熱も高まりを見せ、さらに島には聖火ランナーが駆け抜けるという機運が醸成されている絶好の機会に、ご覧のように、2000 年噴火災害から復旧されていない

三七山スポーツ公園とテニスコート、ゲートボール場を復旧し、東京オリンピック記念公園として、島民への憩いの場の提供、及び観光振興も含めたオリンピックレガシーとして継承していくためにも、スポーツ公園を整備したいという全島民の熱い願いがあります。是非ともご支援のほどお願いいたします。

以上3点について要望いたしました。三宅村は、19年の噴火災害と、念願の帰島から15年、国、東京都のおかげをもちまして、復興も着実に進められています。しかし、いまだ道半ばであり、課題は山積しております。重ねて、東京都のご支援をお願いし、私のお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○知事 ありがとうございました。三宅村、これまで、2回訪問させていただきましたが、私にとりましては、3度目の正直で、三宅村の方に、去年、おとしですか、たどり着くことができました。噴火の後の災害ごみの対応ということで、環境大臣として参ろうと思っただんですが、天候の関係で2度フラれちゃいまして、エンデューロ大会が初めての三宅村への訪問になりました。

今日は、村の特性を生かして、今後も成長を持続的に続けていくための幾つかのポイントをお話しになったかと思います。私も、お話がありましたような宝島構想ということで、これについてもいろんな専門家の意見を聞きながら進めているところでございます。力を入れている分野でございます。

今、三宅島についてのご要望で、二つのキャンプ場の使用再開を目指しているというのは、都としても同じでございます。新たなキャンプ場の整備を含めて、利用者に喜ばれて、島の魅力の創出につながるキャンプ利用について、国とも連携して村の意見を聞きながら検討を進めてまいりたいと存じます。

折しも、神津島村では、逆に、キャンプ場を閉じちゃった。どうもお行儀が悪いとか、ごみを置いていくとか、様々なお話があったかと思います。是非、三宅ルールみたいなものをつくって、そして、現地の物を食べて、現地で食事を自分たちでつくってというような、グランピングの話もそうかと思えます。何か連携取りながら三宅ルールキャンプみたいな、そういう形で進めていただければと思います。

それから、今申し上げたように、魅力あふれる大自然に恵まれておられるということでございまして、先ほどから申し上げているエンデューロレースはとてダイナミックでおもしろいレースになって、また、今年は、特に有名なライダーの方をお招きされるというふうに向っております。観光ニーズも多様化するところでございますので、宿泊施設をどうするかというのは大きなポイントで、これまでも、民宿の方々がおられる中でも、また少し富裕層狙いみたいなお話もあったかなと思います。上質な宿泊施設を求める方々の来島も期待できますし、都としても宿泊施設の整備に向けた村の取組を積極的に後押しをしていきたいと思えます。

それから、今回は、64年と違って、きちんと島にも聖火リレーが届くように、そのように、日数もより多く確保させていただいておりますので、島にとってもレガシーとなるように、いろいろ島らしいイベントも考えていただければと思います。是非、この2020大会

に向けた機運の高まりを、レガシーとして継承していただいて、地域の活性化に資する取組を推進していただきたいと思います。

都といたしましても、どのような応援ができるのか考えてまいりたいと存じます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 村長よろしく願いします、どうぞ。

○三宅村長 今、知事がおっしゃったこと、いちいち本当にいろいろとご支援いただきありがとうございます。キャンプ場につきましては、他島の事情もよく情報を集めておりますけれども、そういう上質な経営をして、マナー問題にしましても解決できるような方法で、東京都の方ともまたご相談・ご支援いただきやっていきたいというふうに思っております。

また、先ほど申し上げましたように、宿泊施設につきましては、高齢化・後継者問題もありまして、なかなか思うようにいかないのが実情でございます。何か大きなイベントをやろうとか、あるいは、ハイシーズンになってきますと、どうしても宿泊数が足りなくて、今、御蔵荘がよく成功しているんですね。観光協会とか商工会とも話をして、そういうような方法でやはり経営していった方がいいのではないかとということで、今話を進めているところでございますので、是非ご支援をお願いしたいと思っております。

また、スポーツ公園にいたしましては、今、ちょうど友好都市との桜の木の提供がありまして、公園づくりに着手したところですが、スポーツ公園として元あったものですから、これをレガシーとして是非とも残したい。ちょっといろいろと話した時に、住民の表立った人たちは、是非ともそれは知事にお願いしなさいということで言われてきましたので、この辺も本当によろしく願いしたいと思っております。

○知事 ご要望を拝聴させていただいております。今、海外からのインバウンドの方、ブラジルからアメリカからヨーロッパからタイから、いろんな方々がめがけていく島が、ご承知のように瀬戸内海なんですね。豊島とか直島とか、非常に芸術で、また、インスタ映えもするというので、もう本当に多くの観光客を集めています。私は、伊豆、そして東京のこの島々っていうのは、その魅力をもっと磨くことによって、また、東京の島であるという利便性などを考えますと、もっと伸びる、その伸びしろが多いと、逆に自然をどうやって守るかも考えながら、より多くの方々を惹きつける、そのような努力をお互いにしていきたいと思っております。

○三宅村長 知事のおすすめもあって、この前、直島の方へ、島しょの首長が視察に行ってきました。瀬戸内だから各島よく連絡が取れるのかなと思いつつも、やはり、古民家とか、あるいは、古い路地をそのまま生かして観光資源にしているところ、だいぶ学ぶことがございました。

また、地中美術館も景観を損なわないようにしてやっているところは、我々も少し参考にしながら、これからのことを、島をどうして発展させていくか、活性化していくかということについては、首長間でも少し考えようということで、少しじゃなくてたくさん考えなきゃいけないと思うんですが、そんな話もしていたところでございます。本当にありが

とうございました。

○行政部長 そろそろお時間になります。最後に、知事、一言よろしく願いいたします。

○知事 何人でいらしたんですか。直島の方、豊島とか。

○三宅村長 8人。

○知事 8人で、おそろいで。そうですか。大変刺激受けられて。

○三宅村長 はい。

○知事 そうですか。それぞれの島の個性を生かしながら、是非いろんなアピールする点いっぱいあると思いますから、これからもますますお互いに刺激し合って、また、守るところはしっかり守って、島の魅力を是非存分に活かしていきたいと思っております。はい、今日はありがとうございました。

○行政部長 それでは意見交換を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。